

より高い価値を より速く より広く ともに

— 個人投資家さま向け 会社説明会 —

(証券コード: 8600)

トモニホールディングス株式会社
代表取締役社長兼CEO 中村 武



「より高い価値を より速く より広く ともに」は、
トモニホールディングス・第5次経営計画のキャッチフレーズです。

※本資料に記載の業績数値・株価・株主還元方針等は、特に断りのない限り2025年11月11日までに公表された情報に基づいています。
※株価・時価総額等の市場データは、特に断りのない限り2025年10月末時点の終値等を基準としています。



TOMONY HOLDINGS 

【スピーチサマリー】

本日は、お忙しい中、トモニホールディングスの個人投資家向け会社説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。トモニホールディングス株式会社代表取締役社長兼CEOの中村武でございます。

本日は、私どもの掲げる「より高い価値を より速く より広く ともに」というスローガンのもと、当社グループがどのような地域金融グループなのか、これまでどのように収益力を高めてきたのか、そして今後どのような成長を描いていくのかを、できるだけわかりやすくご説明したいと思います。

目 次

本日は、投資家の皆さんから寄せられる3つの質問にお答えします。

1. 株式市場から見た「トモニホールディングス」。

2. そもそも、「トモニホールディングス」はどのような会社ですか。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

計数は特に断りのない限り、当社連結の計数を記載しております。

 は当社又は当社グループの活動、 は徳島大正銀行の活動、 は香川銀行の活動を各々表しています。

本日の説明は、投資家の皆さんからよくいただく3つの質問に沿って進めてまいります。

1つ目は「株式市場から見たトモニホールディングス」。株価や売買高の推移、公募増資の効果などについてご説明します。

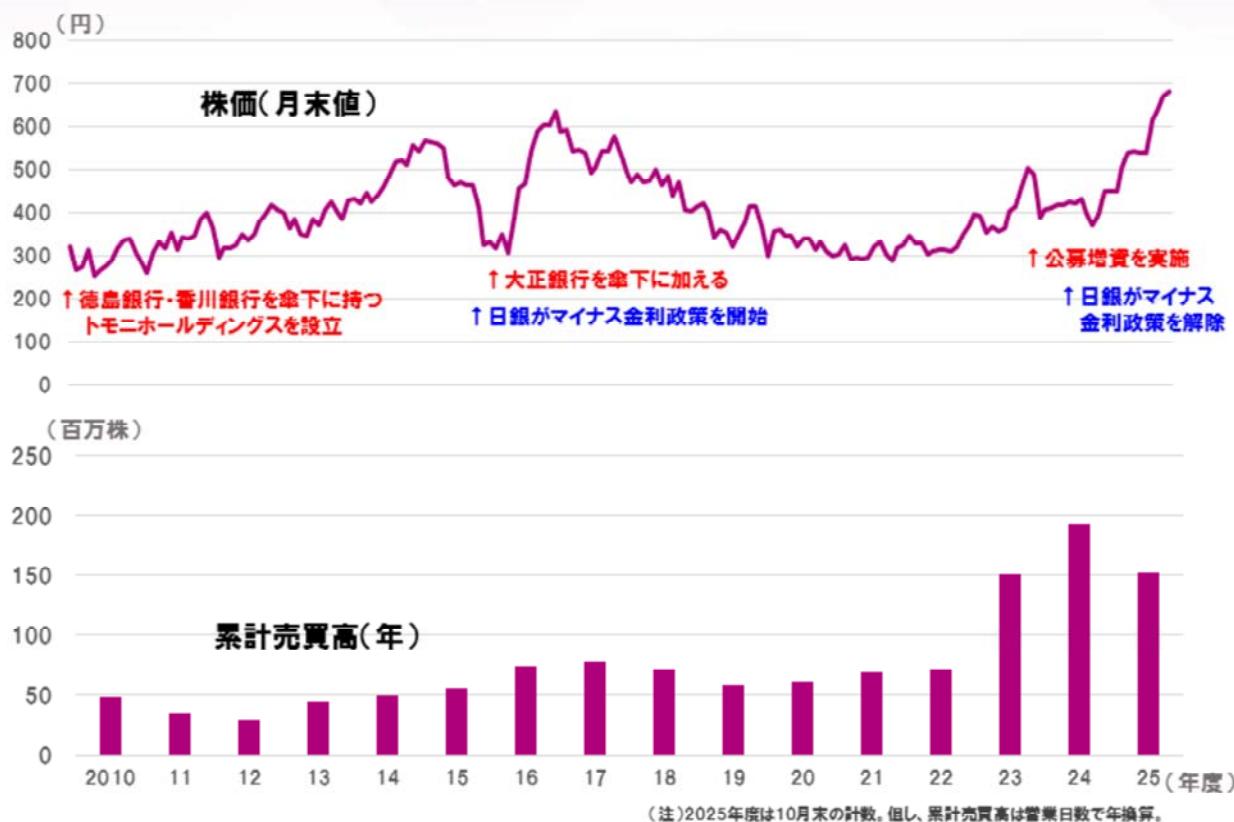
2つ目は「そもそもトモニホールディングスはどのような会社か」。グループのプロフィールや経営理念をご紹介します。

3つ目は「持続的な成長に向けた強みは何か」。地域密着や広域グループとしての特徴、人材やデジタルなど、当社ならではの強みを整理してお話しします。

この3つの問い合わせに答えることで、当社グループの現状と今後の方針をお伝えできればと考えています。

1. 株式市場から見た「トモニホールディングス」。

「金利ある世界」の下で、株価は上昇。公募増資後、売買高も増加、流動性向上。



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

2

まず、株式市場から見たトモニホールディングスの姿についてお話しします。

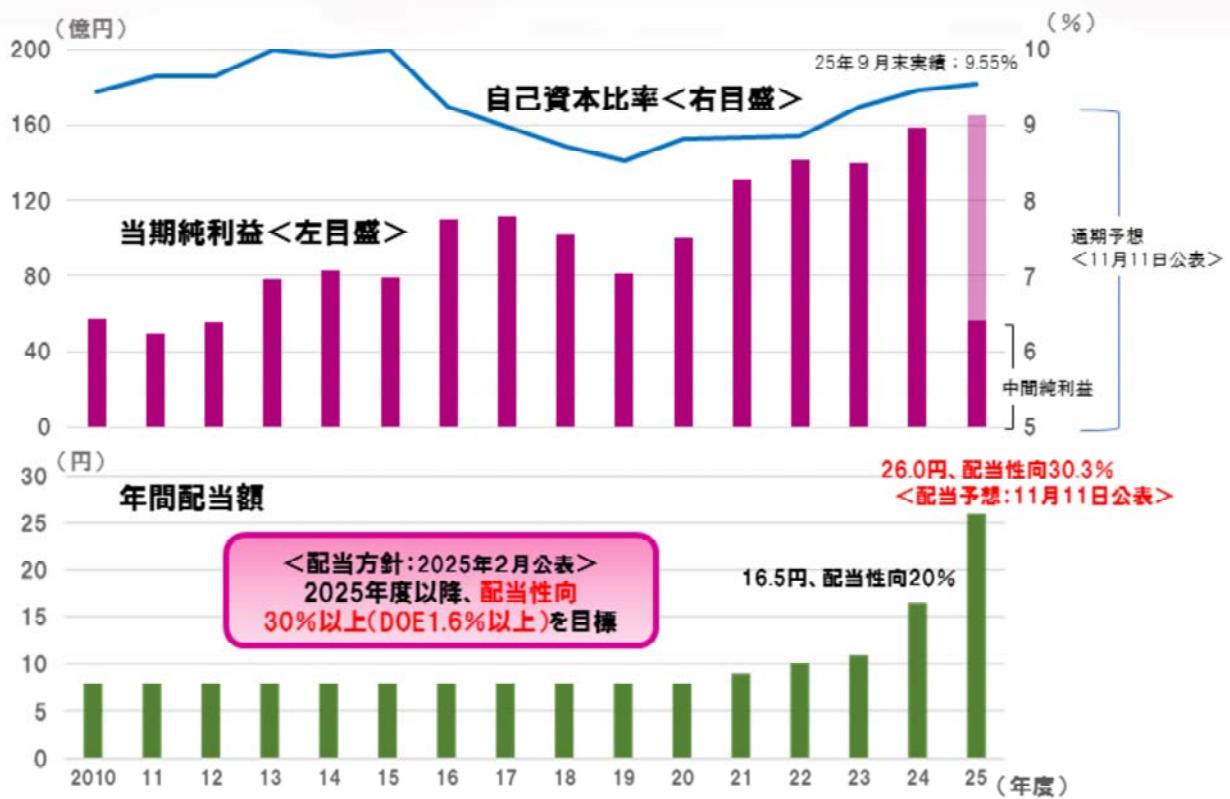
グラフは、当社株価の推移と年間の累計売買高を示したものです。日銀のマイナス金利政策の導入、解除といった大きな環境変化の中で、足もとは「金利ある世界」に戻りつつあり、当社株価も堅調に推移しています。

2023年12月には公募増資を実施しましたが、その後株価は回復・上昇しており、併せて売買高が増え、株式の流動性も向上しました。個人投資家の皆さんを含め、より多くの方にお取引いただける銘柄になりつつあると認識しています。

こうした株価の動きについては、利益水準や自己資本の充実が、市場からの評価につながっていると考えています。

1. 株式市場から見た「トモニホールディングス」。

利益の増加、自己資本の充実を踏まえて、ここ数年「配当水準」を引上げ。



トモニホールディングス株式会社

Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

3

その利益と自己資本、それから配当水準の推移です。

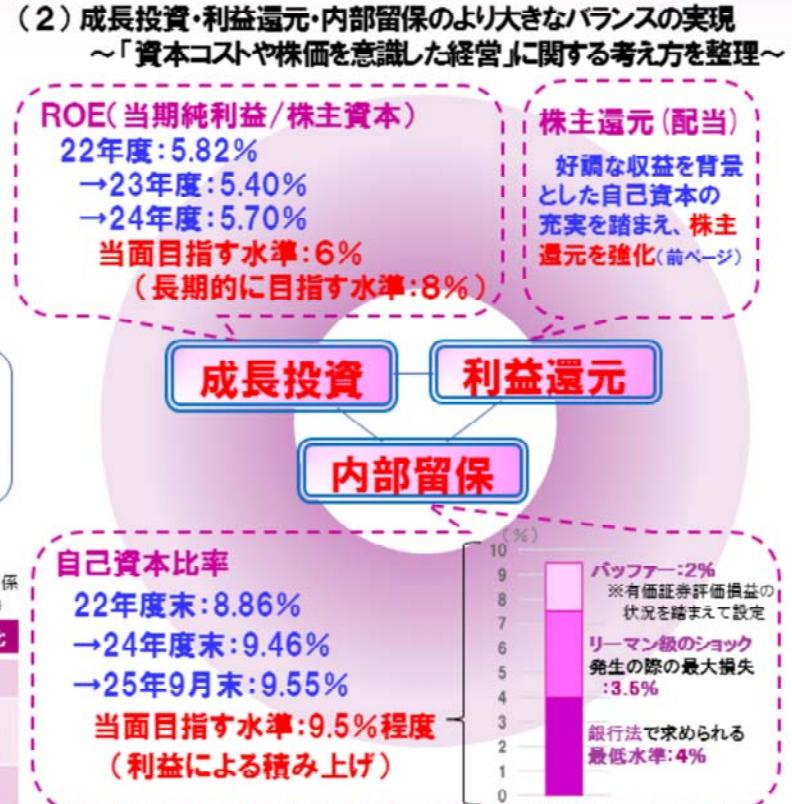
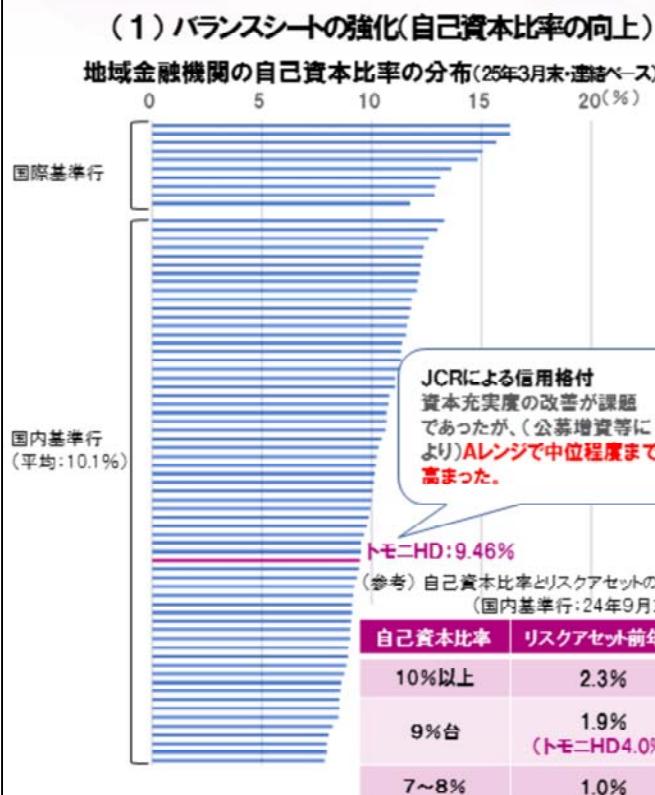
当期純利益は、中期経営計画に沿って着実に増加しており、自己資本比率も2019年をボトムに徐々に上昇してきました。公募増資等実施後、足元では連結自己資本比率9.5%程度を目安に、安定的な資本政策を運営しています。

こうした利益の積み上げと自己資本の充実を踏まえ、ここ数年は配当水準も引き上げてきました。2025年度以降は、配当性向30%以上(DOE1.6%以上)を目標とする方針を掲げております。

株主の皆さんへの還元と、将来の成長に必要な内部留保とのバランスをとりながら、安定的かつ魅力ある配当を継続していきたいと考えています。

1. 株式市場から見た「トモニホールディングス」。

公募増資(2023年12月実施)の目的と効果…「金利ある世界」への回帰に向けた準備



トモニホールディングス株式会社

Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

4

ここからは、2023年12月に実施した公募増資の目的と、その後の効果についてです。

当社は、もともと自己資本比率が地域金融機関の中でもやや低めで、リスクアセットの伸びにブレーキがかかりやすい状況でした。金利が正常化していく中で、せっかく融資需要が出てきても、資本がネックになって思うようにリスクアセットを伸ばせないという懸念がありました。

公募増資等によって、自己資本比率は概ね9.5%程度まで引き上げることができ、資本制約に伴う課題の解消が進みました。その結果、成長投資・株主還元・内部留保のバランスについて、より腰を据えて議論できるようになりました。

ROEは現状5%台後半ですが、当面6%、長期的には8%を目指すとしており、資本コストや株価を意識した経営を一步進める土台が整ったと考えています。

1. 株式市場から見た「トモニホールディングス」。

四国に本店を置く東証プライム上場企業(19社中、時価総額600億円以上の15社)

企業名	本店所在地	時価総額	株価	配当利回り
ユニ・チャーム	愛媛県四国中央市	17,051億円	915.5円	1.97%
いよぎんホールディングス	愛媛県松山市	7,539億円	2405.5円	2.49%
三浦工業	愛媛県松山市	3,796億円	3,030 円	2.21%
四国電力	香川県高松市	3,192億円	1,538.5円	3.25%
ジャストシステム	徳島県徳島市	3,185億円	4,960 円	0.48%
フジ	愛媛県松山市	1,784億円	2,054 円	1.46%
百十四銀行	香川県高松市	1,717億円	6,000 円	3.60%
阿波銀行	徳島県徳島市	1,584億円	3,960 円	3.03%
大王製紙	愛媛県四国中央市	1,487億円	880 円	1.59%
トモニホールディングス	香川県高松市	1,377億円	712 円	3.65%
タダノ	香川県高松市	1,318億円	1,018 円	3.54%
四国化成ホールディングス	香川県丸亀市	1,213億円	2,705 円	1.85%
四電工	香川県高松市	717億円	1,471 円	4.42%
四国銀行	高知県高知市	658億円	1,552 円	3.61%
大倉工業	香川県丸亀市	602億円	4,850 円	4.02%

(注) 本スライドの株価・時価総額は、2025年11月25日終値ベース

各社の株価・配当は、2025年11月25日終値および各社公表の配当予想に基づき、当社が算出。



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

5

このスライドは、四国に本店を置く東証プライム上場企業のうち、時価総額600億円以上の企業を一覧にしたもので
す。

トモニホールディングスは、各社と並び、四国を代表する上場企業の一つとして位置づけられています。

配当利回りで見ても、当社はおおむね3%台後半と、地域の中では比較的高めの水準にあると考えています。

もちろん、株価は市場全体や金利動向の影響も受けますが、中長期的には、きちんと利益を出し、安定した配当を継続していくことが、株主価値向上の一一番の近道だと考えています。

2. 「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

基礎プロフィール(2025年3月末現在)

商 号	トモニホールディングス株式会社 (英文表示:TOMONY Holdings, Inc.)	
所 在 地	香川県高松市	
設 立	2010年(平成22年)4月1日	
主な子会社	徳島大正銀行・香川銀行	
資 本 金	302億円	✓ 地域銀行として全国で7番目に設立された銀行持株会社。当時としては珍しい「戦略型」の経営統合。
預 金 等	4兆5,443億円	✓ 2016年には、関西が拠点の大正銀行を完全子会社化(その後、徳島銀行と合併)。地域金融機関としては珍しい「広域金融グループ」に成長。
貸 出 金	3兆6,898億円	
従 業 員 数	2,183人	
上 場 市 場	東京証券取引所プライム市場(証券コード:8600)	
長 期 発 行 体 格	A(JCR、22年7月26日にA-から引上げ)	



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

6

ここからは、「トモニホールディングスはどのような会社か」という2つ目の問い合わせにお答えしていきます。

当社は2010年に、徳島銀行と香川銀行を傘下に持つ銀行持株会社として設立されました。地域銀行としては全国で7番目に設立された持株会社であり、当時としては先進的な「戦略型」の経営統合であったと考えております。

その後2016年には、大阪を拠点とする大正銀行を完全子会社化し、現在は徳島大正銀行と香川銀行という2つの銀行を中心とする「広域金融グループ」に成長しています。

預金等残高は約4.5兆円、貸出金残高は約3.7兆円、従業員数は2,000名強という規模で、東京証券取引所プライム市場に上場しています。

2. 「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

銀行子会社・プロフィール(2025年3月末現在)



所在地	徳島県徳島市	所在地	香川県高松市
創業	1918年(大正7年)3月3日	設立	1943年(昭和18年)2月1日
店舗数	108店舗(うち出張所10)	店舗数	90店舗(うち出張所6)
資本金	141億円	資本金	141億円
預金等	2兆4,628億円	預金等	2兆887億円
貸出金	2兆326億円	貸出金	1兆6,655億円
従業員数	1,141名	従業員数	950名
バーバス	人、地域、社会を笑顔で満たす。	バーバス	地域・お客さまを元気にする。



旧本店跡地駐車場を利用した「夕暮市場 in 徳島大正銀行」



かがわアライアンス
SDGs リレーマラソン



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

7

次に銀行子会社についても簡単にご紹介します。

徳島大正銀行は、徳島県徳島市に本店を置き、1918年創業の地域銀行です。預金等残高は約2.5兆円、貸出金残高は約2.0兆円、店舗数は108店舗と、徳島県、そして大正銀行合併後は大阪府も中心として広く地域に根ざした営業を展開しています。バーバスは「人、地域、社会を笑顔で満たす。」です。

香川銀行は、香川県高松市に本店を置き、1943年に設立されました。預金等残高は約2.1兆円、貸出金残高は約1.7兆円、店舗数は90店舗と、香川県を中心に、主に四国・中国エリアで事業を展開しています。バーバスは「地域・お客さまを元気にする。」です。

この2行が、それぞれの地域にしっかりと根を張りながら、一方でグループとしてのスケールメリットやノウハウの共有を進めているのが、当社の特徴です。

2. 「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

経営理念とパーパス、10年後の目指す姿



経営理念 ~ 設立以来変わらぬ「想い」

お客さま第一主義

お客さま第一主義の経営を徹底し、それぞれのお客さまのニーズに応じた最良の金融サービスを提供します。

お客さまとともに成長

地域において持続的安定的な金融仲介機能を発揮し、地域のお客さまとともに成長し続けます。

信頼と安心の経営

グループとしてより強固な経営基盤を構築し、お客さまから信頼され安心して末長くおつきあいいただく存在になります。

トモニホールディングスが考える「当社グループのパーパス」

社員一人ひとりの成長を組織の成長につなげ、各組織の成長をグループ全体の成長につなげ、お客さま一人ひとり(一社一社)の成長を地域の成長につなげ、各地域の成長を広域の成長につなげていくことにより、すべてのステークホルダーの皆さまとともに成長を紡いでいく。

10年後の目指す姿

やっぱり“トモニ”を選んで
よかったですと言われる
広域金融グループ

(注)当社グループのパーパス、10年後の目指す姿は、第5次経営計画において策定。



トモニホールディングス株式会社

Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

8

当社グループの経営理念は、設立以来変わらず「お客さま第一主義」「お客さまとともに成長」「信頼と安心の経営」という3つです。

これをよりわかりやすく表現したものが、グループのパーパスです。社員一人ひとりの成長を組織の成長につなげ、各組織の成長をグループ全体の成長につなげ、お客さま一人ひとり・一社一社の成長を地域の成長につなげていく。その連鎖を通じて、すべてのステークホルダーの皆さまと「ともに」成長を紡いでいくという考え方です。

10年後の目指す姿としては、「やっぱり“トモニ”を選んでよかったですと言われる広域金融グループ」を掲げています。

こうした理念やパーパスは、最後にご紹介する「6つの約束」にもつながっていきます。

2. 「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

2026年3月期・第2四半期決算の概要

(トモニホールディング連結)

決算	(単位)	2025/3月期 第2四半期	26/3月期 第2四半期	変化額
経常利益	(百万円)	12,557	9,858	▲ 2,699
親会社株主に帰属する中間純利益	(百万円)	8,683	5,668	▲ 3,015
自己資本比率	(%)	9.30	9.55	0.25
ROE(当期純利益ベース)	(%)	6.23	3.98	▲ 2.25
1株あたり中間純利益	(円)	45.15	29.38	▲ 15.77
預金等残高	(億円)	44,428	46,312	1,884
貸出金残高	(億円)	36,124	37,491	1,367

参考

通期予想: 26,050百万円(上期進捗率: 37.89%)

通期予想: 16,500百万円(上期進捗率: 34.3%)

25/3月末: 9.46%(25/9は3月末対比 +0.09%)

25/3月末対比: +869億円

26/3月末対比: +503億円

(2行単体・合算)

コア業務粗利益	(百万円)	29,498	32,551	3,053
経費(▲)	(百万円)	16,481	16,854	373
うち人件費	(百万円)	8,637	8,765	128
物件費	(百万円)	6,825	6,909	84
コア業務純益	(百万円)	13,015	15,697	2,682
業務純益	(百万円)	12,581	9,569	▲ 3,012
経常利益	(百万円)	12,356	9,674	▲ 2,682
中間純利益	(百万円)	8,523	5,596	▲ 2,927
与信関連費用(▲)	(百万円)	579	6,862	6,283
有価証券関係損益	(百万円)	▲ 356	443	799
本業利益(外貨調達コスト控除後)	(百万円)	8,169	9,577	1,408
コア業務粗利益OHR	(%)	55.87	51.77	▲ 4.10

(参考)その他有価証券・評価差額 (百万円) 2,873 ▲ 3,994 ▲ 6,867

25/3月末: ▲ 7,523百万円

(+3,529百万円の改善)

コア業務純益の推移(第2四半期)



通期予想	(単位)	経常利益	当期純利益
5月公表	(百万円)	24,850	16,500
11月公表	(百万円)	26,050	16,500
増減率	(%)	4.8	0.0

(注)11月11日公表。通期見通しは経常利益のみ増額修正。



トモニホールディングス株式会社

Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

9

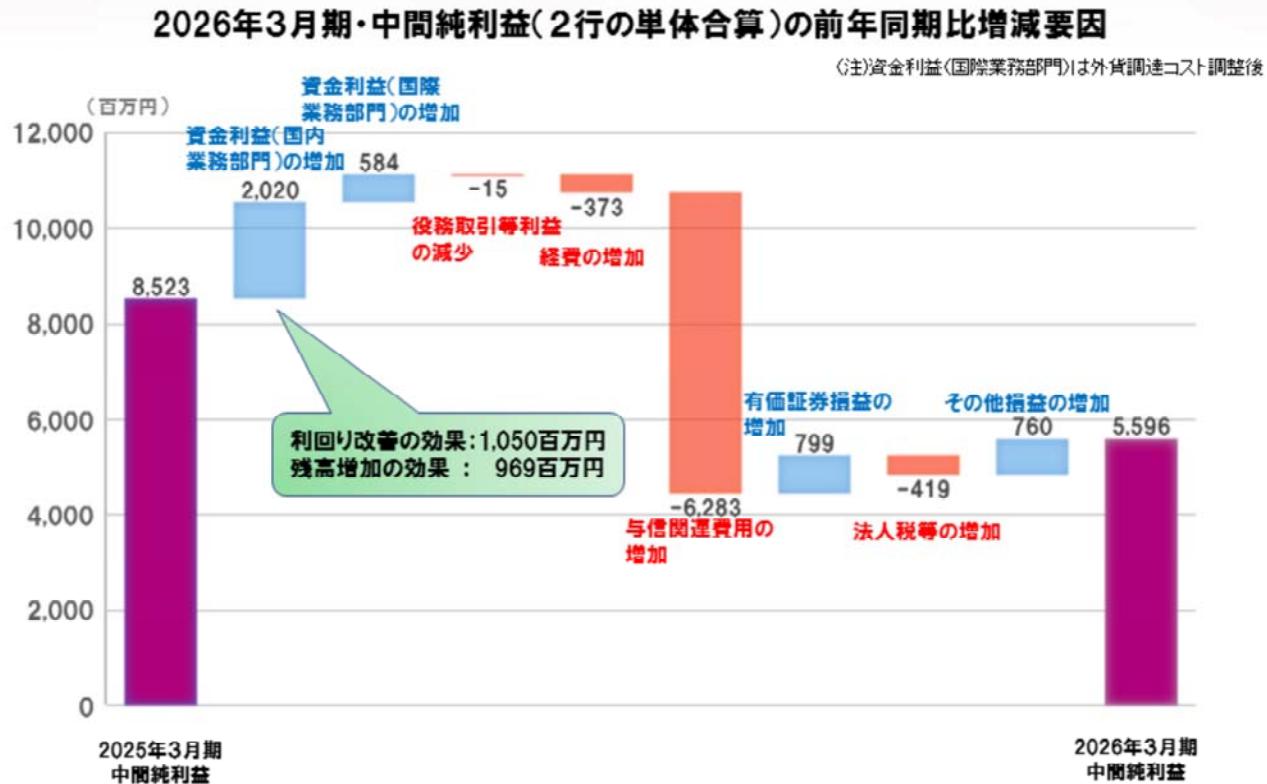
続いて、足元の業績についてポイントをご説明します。

コア業務純益は、金利ある世界への回帰を背景に、国内・国際ともに資金利益が増加し、順調に伸びています。

今年度の中間決算では、与信関連費用が大きく増加し、前年度対比で減益となりましたが、本業を示すコア業務純益が順調に伸びていることから、通期では、経常利益は5月公表の248.5億円に対して260.5億円、当期純利益については、5月公表どおり165億円となる見込みです(2025年11月11日公表の業績予想に基づく)。

2. 「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

大幅に増加した「与信関連費用」の約4割を、好調な「資金利益」の増加でカバー



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

10

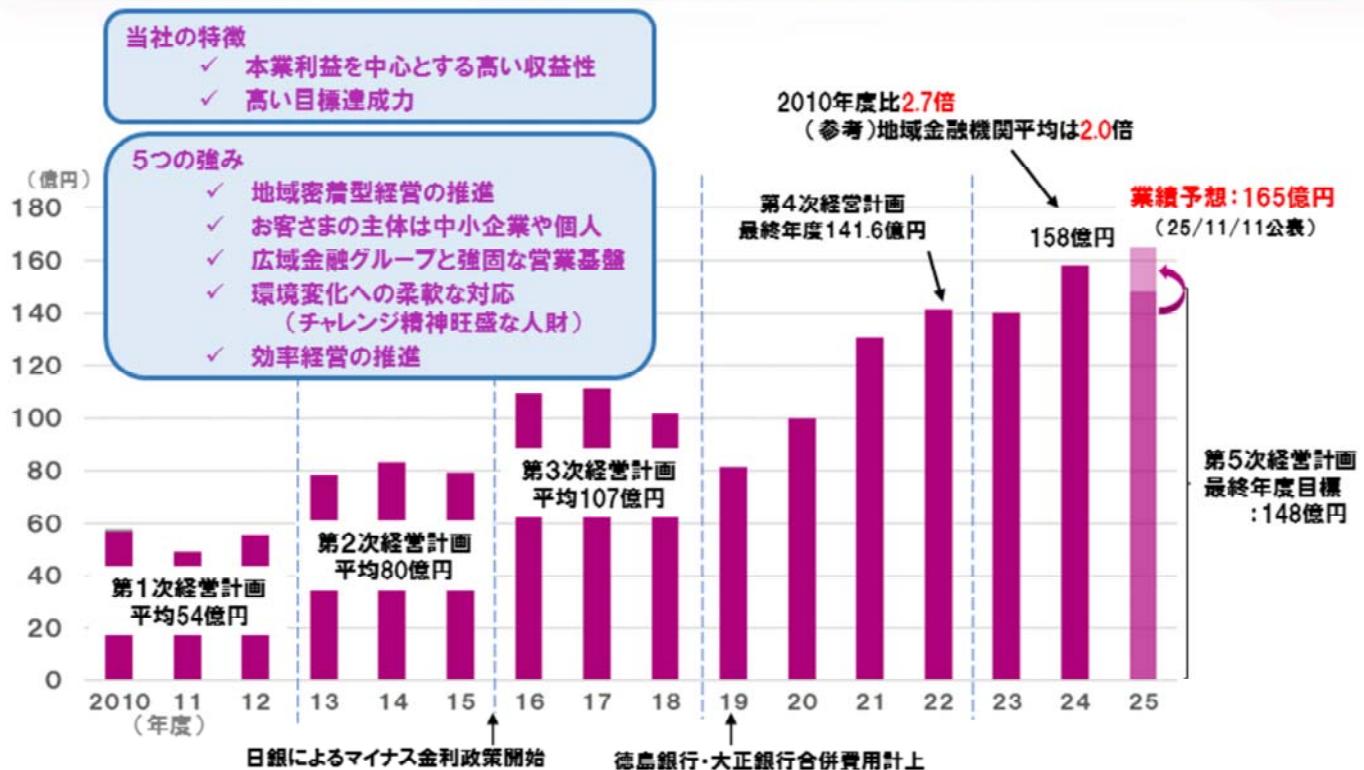
前年度の中間決算との差異をお示ししたウォーターフォールのグラフをご覧いただけますとおり、増加した与信関連費用のおよそ4割は、好調な資金利益の増加でカバーできています。また、円貨資金利益のうち半分は利益の改善で、残り半分は残高の増加で実現しており、バランスも良いと評価しています。

増加した与信関連費用のおおよそ半分は中小企業の事業再生支援などに伴うコストです。

私ども、地域銀行として、本業でしっかりと稼ぎながら、一方でお取引先の事業再生や承継を支えることも大事な役割だと考えています。その意味では、今回の決算は、数字の上では減益ではあるものの、地域銀行らしい決算であると前向きに評価しています。

2. 「トモニホールディングス」は、どのような会社ですか。

経営計画に沿って、順調に利益を拡大(今年度が最終年度の第5次経営計画も達成見込み)



トモニホールディングス株式会社

Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

11

このグラフは、第1次から第5次までの経営計画と、コア業務純益の推移を示しています。2010年度と比べ昨年度までに、当社のコア業務純益は約2.7倍まで増加しており、地域金融機関平均の約2倍と比べても高い伸びとなっています。

こうした収益力の向上を支えているのが、スライドに記載している「5つの強み」です。

- ①地域密着型経営の推進
- ②お客さまの主体は中小企業や個人
- ③広域金融グループと強固な営業基盤
- ④環境変化への柔軟な対応
- ⑤効率経営の推進

以降のスライドで、それぞれの強みを具体的な事例を交えながらご紹介します。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その1)…地域密着型経営の推進 ① face to faceの関係構築

(1)ふるさと「徳島・香川」での取引社数の増加

	(社)		
	2015年度末	24年度末	増加数
徳島県	5,609	5,795	+ 186
香川県	6,639	7,898	+ 1,259

(3)地域に笑顔を、地域に元気を

徳島大正銀行では、阿波踊りへ参加
1950年に発足した最も歴史のある企業連



(2)メイン取引先数

	(社)		
	2015年度末	24年度末	増加数
徳島大正銀行	3,075	4,116	+ 1,041
香川銀行	5,061	6,483	+ 1,422

「香川銀行GiraSol kagawa」
第76回日本ハンドボール選手権優勝
国民スポーツ大会2025 成年女子優勝



(資料)当社・統合報告書、ディスクロージャー誌



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

12

まず1つ目の強みは「地域密着型経営」です。

徳島・香川というふるさとで、当社は着実にお取引先の数を増やしてきました。2015年度末と比べると、徳島県・香川県の取引社数はいずれも増加しており、貸出残高を増やすだけでなく、お客さまとのリレーションそのものが増えていることが特徴です。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その1)…地域密着型経営の推進 ② 取引先同士のコミュニティ形成



「とくぎんサクセスクラブ」

徳島大正銀行の取引先で構成され、2025年9月現在の会員数は2,126先。2025年1月に「新年互礼会」が開催され、会員をはじめ約1,600名が参加。講演会では池上彰氏が『ニュースから未来が見える』というテーマで講演を行った。



「香川ニュービジネスクラブ」

香川銀行の取引先で構成され、2025年9月現在の会員数は1,536先。2025年1月に「新春講演会・交流会」が開催され、会員・一般合わせて約1,500名が参加。講演会では竹中平蔵氏が『2025年世界と日本経済を展望する』というテーマで講演を行った。



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

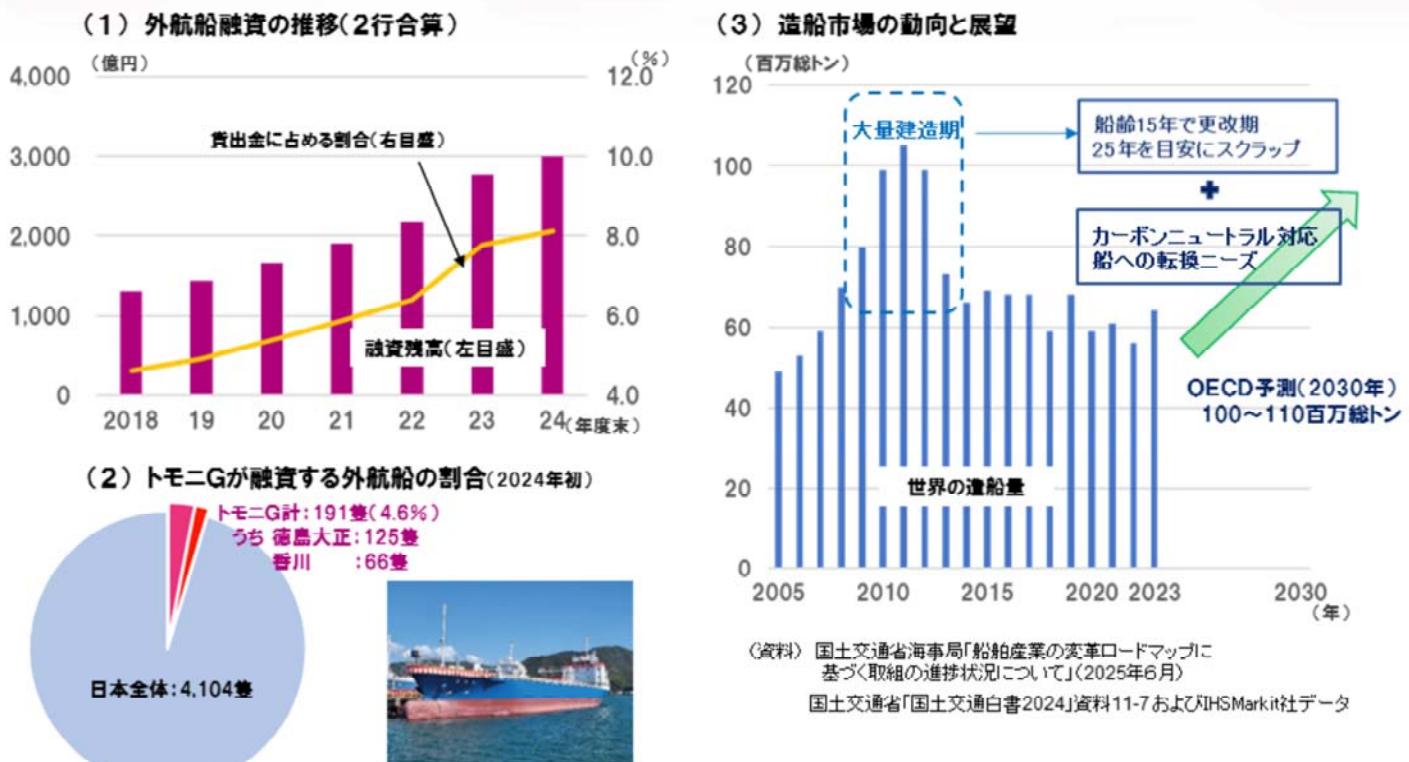
13

単に銀行と取引先という関係だけではありません。徳島大正銀行の「とくぎんサクセスクラブ」や、香川銀行の「香川ニュービジネスクラブ」といった会員組織では、毎年1,500名規模の講演会・交流会を開催し、お客様同士のネットワークづくりを支援しています。

こうしたネットワークが自然発生的に新たな取引機会を生んでいます。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その1)…地域密着型経営の推進 ③ 四国の地域金融機関として「船舶」に注力



〔資料〕UNCTAD「REVIEW OF MARITIME TRANSPORT 2024」ほか

トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

14

この間、瀬戸内の金融機関として強みを発揮しているのが「船舶融資」です。現在、外航船向け融資残高は約3,000億円、貸出金全体の約8%を占め、日本全体の外航船の約4.6%に当たる191隻を当グループが支えています。船舶関係はカーボンニュートラル対応も追い風となり、今後も安定した需要が見込まれる分野であり、当社としてもリスク管理を徹底しつつ、着実に取り組んでいきたいと考えています。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

全国初の脱炭素条例を
制定した徳島県(2016年)

5つの強み(その1)…地域密着型経営の推進④ 徳島大正銀行の事例

脱炭素関連事業、一次産業の活性化など地域の持続的発展に資する事業を営む他業銀行業高度化等会社「とくぎんトモニリンクアップ株式会社」を設立(2025年2月4日)

とくぎんトモニリンクアップの役割

解決を目指す地域課題

- ・徳島県・県産品の魅力度の最大化
- ・地域資源・自然資本を活かしたビジネスづくり
- ・一次産業の活性化・担い手づくり
- ・適切な森林管理・整備
- ・地域のカーボンニュートラル
- ・ネイチャーポジティブ経済移行

とくぎんトモニリンクアップ株式会社の役割

それぞれの産業では実現の難しい構想に対して、「産業横断・地域関係者ぐるみ」で立ち向かっていくために、**事業主体**として地域課題解決を推進するとともに、**Hub コーディネーター**の役割を担う



とくぎんトモニリンクアップの事業内容

- ・再生可能エネルギーの発電・売電事業及び蓄電事業
- ・GXコンサルティング事業
- ・Jクレジット創出・販売事業
- ・一次産業の活性化に資するソリューション事業
- ・持続可能なまちづくりに資するソリューション事業
- ・補助金申請サポート事業

G X事業の一例（概要）

共創企業

連携

とくぎんトモニリンクアップ

- 再生可能エネルギー発電所
- 系統用蓄電所

オフサイトPPA

地域の需要家

電力市場

地域課題

- ・カーボンニュートラルの加速
- ・地域と共に生する再エネ電力の導入促進
- ・資源・エネルギーを無駄にしない、サーキュラーエコノミーへの移行

地域にもたらしたい価値

- ・再エネ発電量の増加
- ・蓄電池の活用による電力ロスの削減
- ・事業者の脱炭素経営サポート

 トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

15

地域密着という文脈で徳島大正銀行と香川銀行の最近のトピックスをご紹介します。

徳島大正銀行は、全国初の脱炭素条例を制定した徳島県と連携し、「とくぎんトモニリンクアップ株式会社」というGX関連の他業銀行業高度化会社を設立しました。

再エネ発電や蓄電、Jクレジット創出、一次産業の活性化など、単独の企業では難しい地域課題に、産官学金が一体となって取り組むHubの役割を担っており、設立して間もないにとかわらず、徳島県や鳴門市・小松島市・北島町などの自治体との連携協定も進んでいます。

持続可能な地域経済を創る上で、ネイチャーポジティブ経済への移行は欠かせませんので、今後、地域の特性を活かした大きなうねりとなっていくことが期待されています。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

香川県の介護人材の
有効求人倍率は3.43倍

5つの強み(その1)…地域密着型経営の推進 ⑤ 香川銀行の事例

中小企業の雇用環境が今後悪化していくことが予想される中、取引先の**人材不足を解消**するため
「特定技能外国人」の紹介業務を開始

解決を目指す地域課題

- 少子化による人口減少や若者の県外流出等を背景とする人材不足

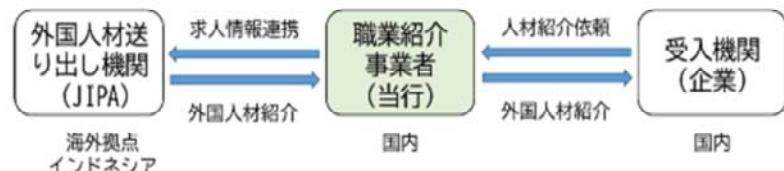


香川銀行の外国人材紹介の取組み

- 2018年から**外国人技能実習生受け入れ**を目的として、**海外視察**を実施。
- 2019年には香川県内の実習受入機関とも連携して、**ミャンマーで24名の介護人材を採用**。
- 2024年までの6年間に、このルートでミャンマーから採用し、**就労した人材は合計で200名超**。
- 2024年、ルートの拡大を狙い、PT Bank J Trust Indonesia,Tbk.（インドネシアの銀行）と業務提携。
- 2025年、**インドネシア国籍の特定技能外国人**を紹介することを目的として、PT Jaya Indonesia Pandu Abhipraya と業務提携し、**外国人材紹介業務を開始**。

外国人材紹介業務の概要

◆スキーム図



◆対象職種

介護、農業、宿泊、外食、飲食料品製造、工業製品製造等
特定産業16分野



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

16

香川銀行では、外国人材紹介の取組みを進めています。香川県では、介護人材の有効求人倍率が3.4倍を超えるなど、人手不足が深刻な課題となっています。そこで香川銀行では、2018年からミャンマーへの海外視察を行い、2019年以降、合計200名超の方を香川・岡山の介護施設などにご紹介してきました。

2024年にはインドネシアの銀行と業務提携し、その後、特定技能外国人を紹介するスキームもスタートさせています。

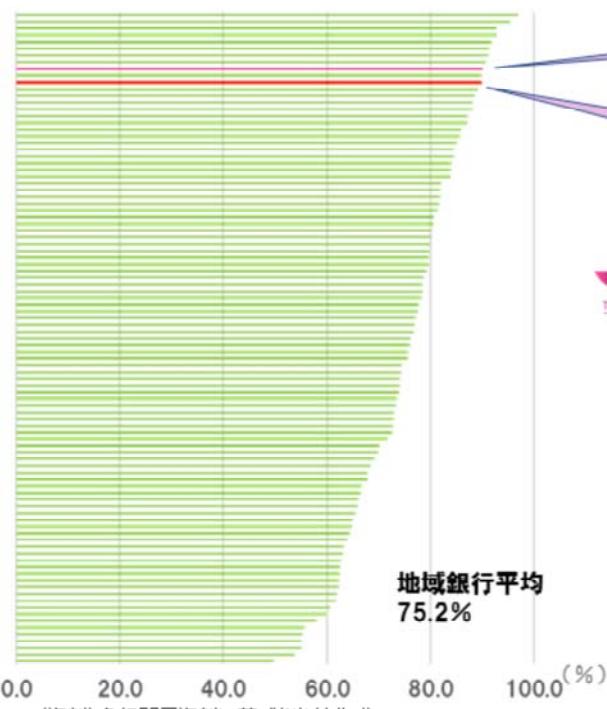
さらに、アフターケアを含めたきめ細かな支援体制を整えることで、受け入れ企業と外国人材の双方にとって安心できる仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

このように、地域ごとの課題に向き合いながら、金融の枠を超えたソリューションを提供している点も、当社グループの大きな特徴です。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その2)…お客様の主体は中小企業や個人

(1)高い中小企業等貸出比率(24年度:地域銀行97行)



徳島大正銀行:89.95%(10位)



香川銀行:89.05%(12位)



(2)「地域とトモニファンド」による新規事業支援

牡蠣養殖からスマート漁業の実現へ 水問題を構造から捉え、解決に挑む



IoTシステムを用いた牡蠣
養殖技術を開発



小規模分散型水循環
システムを開発

(資料)各行開示資料に基づき当社作成



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

17

2つ目の強みは「中小企業や個人がお客様の主体である」という点です。

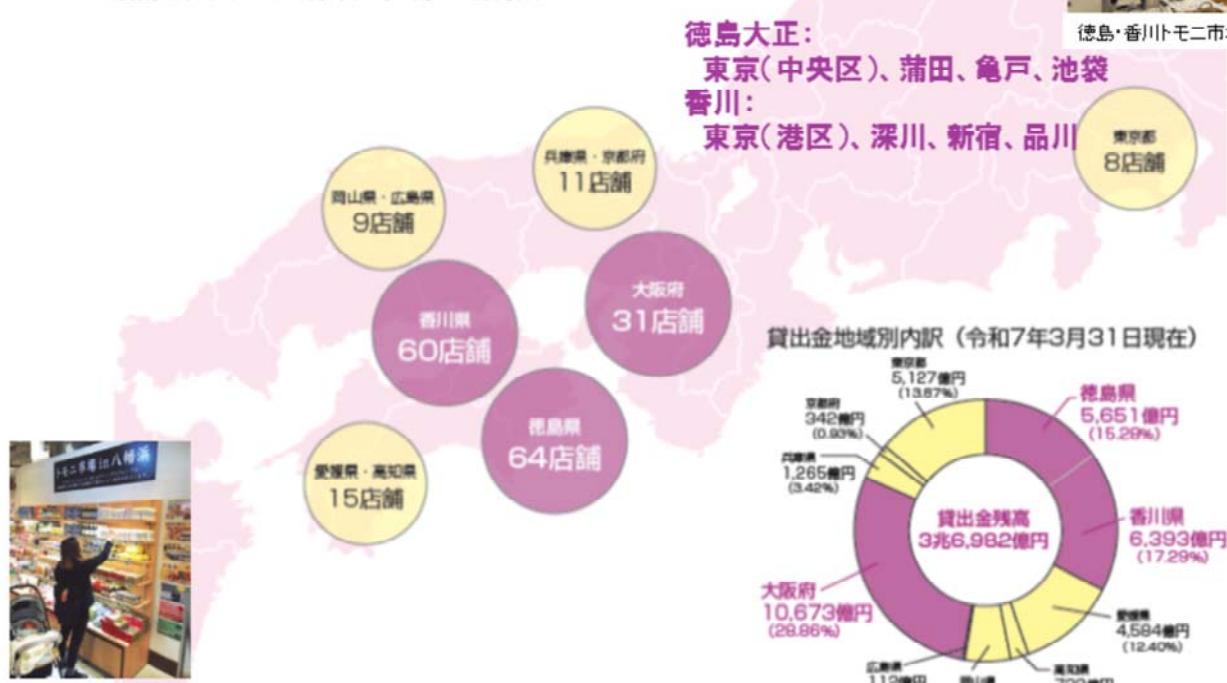
当社2行の中小企業等貸出比率は、地域銀行平均75%前後に対して約90%と、全国の地域金融機関の中でも上位水準にあります。

中小企業・個人のお客さまとの日々の対話を通じて、資金繰り支援だけでなく、新規事業・スタートアップへの投資ファンドなど、多様な形で成長を後押ししています。また、小口分散型のポートフォリオはリスク分散の観点からもプラスと考えています。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その3)…広域金融グループと強固な営業基盤 ①

店舗ネットワーク（令和7年6月30日現在）

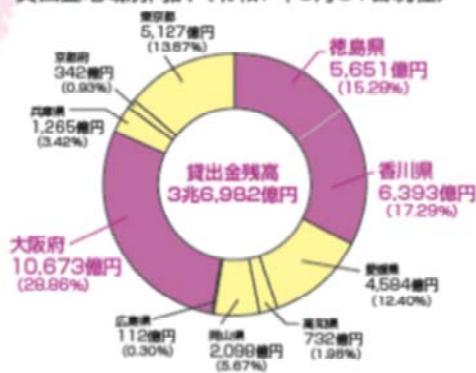


トモニ市場 in 八幡浜(道の駅・八幡浜みなと内)



徳島・香川トモニ市場(東京・有楽町)

貸出金地域別内訳（令和7年3月31日現在）



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

18

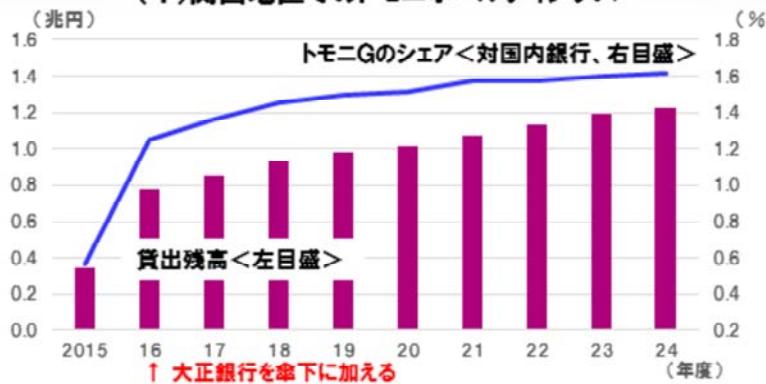
3つ目の強みは「広域金融グループと強固な営業基盤」です。東京や大阪といった大都市圏にも店舗や拠点を構え、首都圏・関西圏と地元をつなぐハブ機能を発揮しています。

また、当社独自の取組みとして、東京・有楽町に「徳島・香川トモニ市場」というアンテナショップを持っており、年間およそ1億円、お客様の商品を販売するお手伝いをしています。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その3)…・広域金融グループと強固な営業基盤 ②…業容拡大を目指す大阪エリア戦略

(1)関西地区でのトモニホールディングス



(2)成長が期待される関西経済



(参考1) GDP20%経済圏を目指す
関西経済連合会



(参考2) 高市総理・所信表明から

「首都の危機管理機能のバツクアップ体制を構築し、首都機能分散及び多極分散型経済圏を形成する観点から、首都及び副首都の責務と機能に関する検討を急ぎます」

トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

19

「広域金融グループ」という観点では、このところ、特に大阪に、「2030年までの10年間はゴールデンタイム」といった具合で注目が集まっており、実際に、経済規模も下げ止まりから反転上昇の兆しが伺えます。

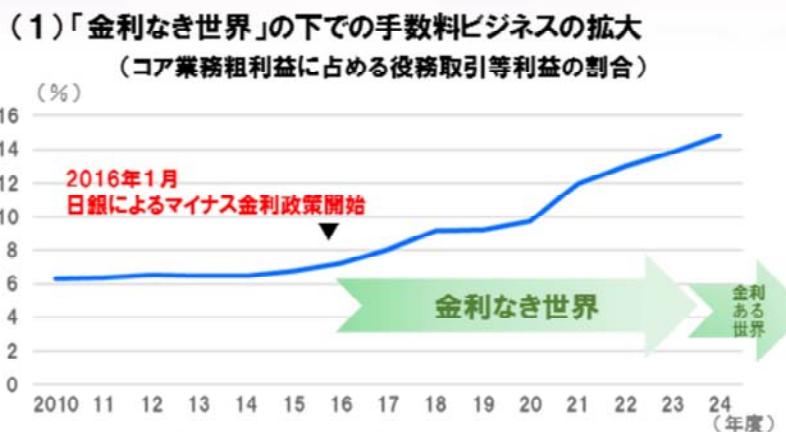
私どもは、大正銀行を傘下に加えて以降、大阪でのポートフォリオを漸増させていますが、域内への銀行貸出に占める割合(シェア)はまだ小さく、伸びしろは大きいと考えています。

成長が期待される関西経済の中で、地元企業と都市部企業の双方に価値を提供していきます。

広域金融グループである私どもにとって、東京や大阪でいかにビジネスを行っていくかは重要なポイントです。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その4)…環境変化への柔軟な対応 ① 「金利なき世界」でのチャレンジ (1)

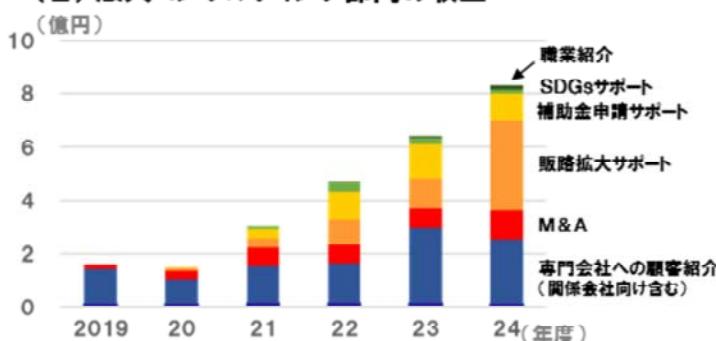


(3) 経営戦略を踏まえた人財育成

T 高い専門性【徳島県警への行員派遣】
特殊詐欺事件の未然防止や犯罪収益対策に係る体制強化が課題となる中、県警との連携強化により、管理体制を強化するとともに、様々な経験を積むことで、組織全体の知見を磨く試み。



(2) 法人コンサルティング部門の収益



広い視野【法人担当行員の海外研修】

法人担当行員300名を対象として、グローバル感覚の醸成及び海外における経済活動への理解を深めることを目的に実施。行員間の絆を深める機会にもなっている。



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

20

4つ目の強みは「環境変化への柔軟な対応」です。この点について、様々な取組みが挙げられますが、例えば「金利なき世界」において、手数料ビジネスやコンサルティング機能を強化し、法人コンサル部門の収益も着実に拡大してきました。

こうしたビジネスを拡大するためには人材育成も欠かせません。こうした認識のもと、徳島県警への行員派遣や法人担当行員の海外研修などを通じて、高い専門性と広い視野を持つ人材の育成にも力を入れてきました。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その4)…環境変化への柔軟な対応 ① 「金利なき世界」でのチャレンジ (2)

徳島大正銀行

【事業継続や雇用維持に貢献】

徳島県に本社を置く木材業界でも老舗の市売業者は、後継者不在、業況悪化といった経営課題を有しており、事業継続が困難な状況であった。

このため、同行では「新たな市売業の構築」を模索していた徳島県内の木材卸業者を紹介。



©2003 TOKUGIN



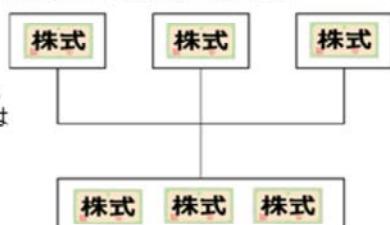
香川銀行



【事業承継に向けた提案】

前代表者から代表権を承継した現代表者は、株式を前代表者夫婦（現代表者の両親）が大半を保有したままであることに問題意識をもつていたが、専門的な知識が無いため後回しになっていた。

現代表者の意向を伺った同行では外部専門機関と連携し、課題解決に向けた最適な道筋の提案と実行支援を行った。



【無医村状態解消に貢献】

徳島県佐那河内村では2023年に村唯一の診療所が閉鎖。以降無医村状態が続いている。

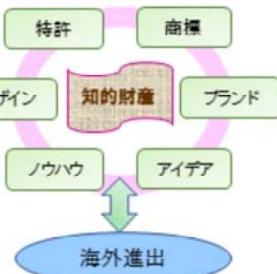
このため、同行が医療提供ができる事業者を紹介。同社は佐那河内村から医療施設（旧 村保険センター）の提供を受け、週2日ほど医師を派遣することとなり、無医村状態は解消、医療衛生環境が改善。



【知財活用支援】

国内業界最大手のOEMシェアNo.1の空調・住宅関連機器製造業者は、自社ブランドでの市場進出（脱OEM）が悲願であり、OEM受託先と競合にならない海外進出を志向。過去に知財を海外企業に無断使用された経験があり、対策の重要性は認識していた。

このため、同行では、海外でのブランド確立に向けた攻め（知的財産の棚卸し戦略検討）、守り（OEM先との契約整理、ターゲット国の先行技術・商標調査）など多面的に支援した。



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

21

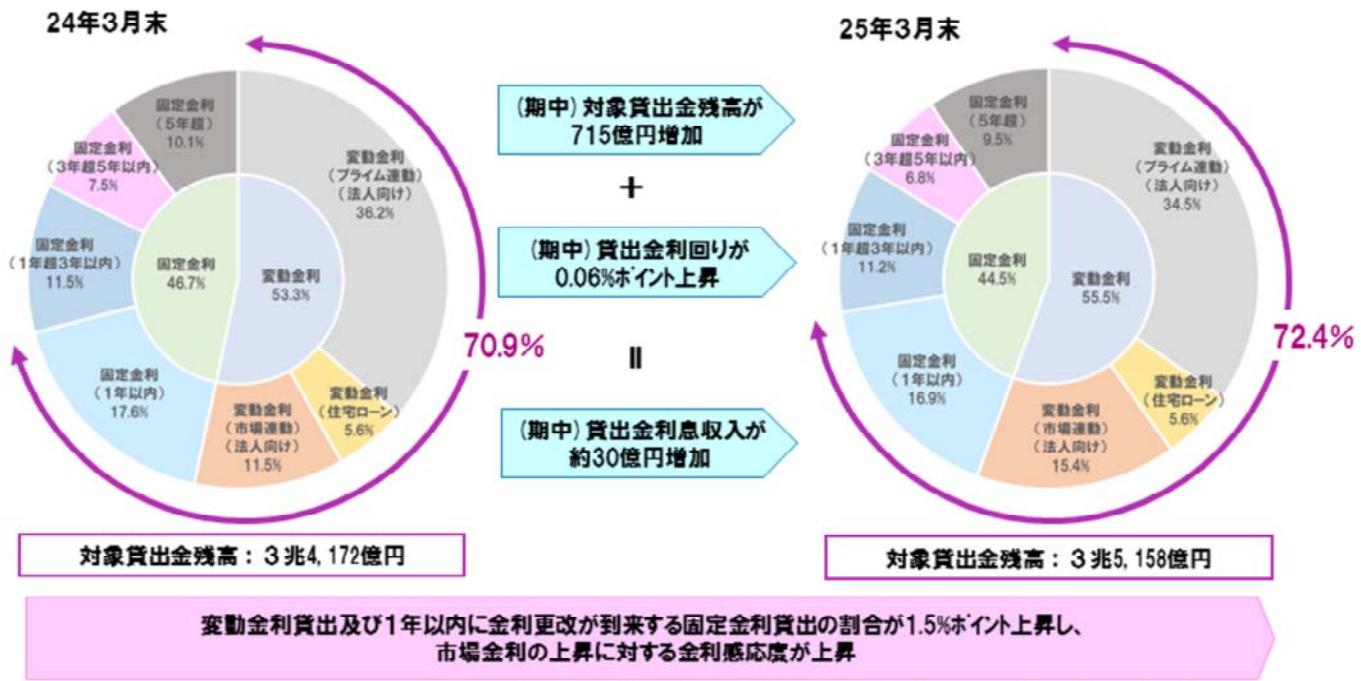
徳島大正銀行、香川銀行ともに非金利ビジネスの成果はまさに多様です。とりわけ高齢化が進む地域では事業承継が大きなテーマですが、こうした提案に力を入れており、それらの課題を解決することで手数料収益にも繋げています。

。

3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その4)…環境変化への柔軟な対応 ② 「金利ある世界」でのチャレンジ

円貸貸出金の金利種類別割合（2行合算）の推移



トモニホールディングス株式会社

Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

22

一方、足もとの金利が上昇する現在の「金利ある世界」でも環境変化への対応、チャレンジを図っています。すなわち、変動金利や短期固定の貸出の比率を高めることで貸出資産の金利感応度を高めており、足元では預貸金利鞘の改善にもつながっています。これが最近の利益の拡大に寄与していることは、先ほどご説明したとおりです。

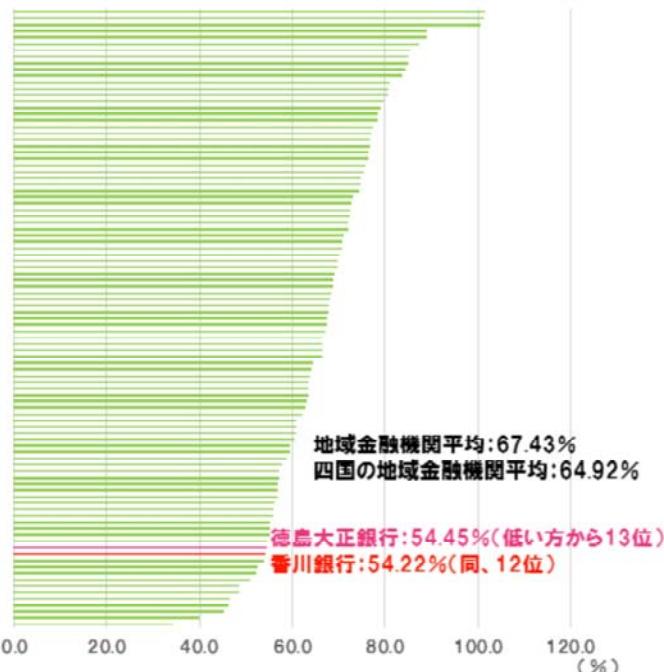
3. 持続的な成長に向けた「強み」は何ですか。

5つの強み(その5)…効率経営の推進

(1) 低い経費率<コア業務粗利益OHR>

(24年度地域銀行97行)

(注) コア業務粗利益OHR=経費 / コア業務粗利益



(資料)各行開示資料および全国銀行協会公表統計に基づき当社作成

(2) 将来に向けた更なる効率化

複数の業務システムを一元化(徳島大正銀行)
顧客管理・渉外活動支援といった営業系システムと財務分析・不動産担保管理等の融資系システムのワンプラットフォーム化に着手(2026年稼働予定)。



■ 営業店事務の本部集中(香川銀行)

事業性融資・住宅ローンの実行、有担保ローンの代弁、
信用保証協会への代弁、普通抵当権の抹消など様々な営業点事務を段階的に集中化(2023年所管部設置)。



23

5つ目の強みは「効率経営」です。コア業務粗利益OHRは、地域金融機関平均よりも1割以上低い水準にあり、全国の中でも効率性の高いグループと言えます。

今後も、システムの統合や営業店事務の本部集中などを進め、サービスの質を落とすことなく、よりスリムで強い組織を目指していきます。

結びに代えて

第5次経営計画で定めた「6つの約束」

トモニホールディングスが、「やっぱり“トモニ”を選んでよかったと言われる広域金融グループ」を目指す中で、どのような価値提供を行っていくかということを、ステークホルダーに分け、「6つの約束」として明示。

社会の皆さまとの約束	地域の皆さまとの約束
私たちには、社会的責任を果たすことにより、持続可能な社会の実現への貢献に努めます。	私たちには、金融機能の提供を通じて、地域経済の持続的な発展への貢献に努めます。
株主の皆さまとの約束	法人のお客さまとの約束
私たちには、グループの持続的な成長と強固な財務基盤の形成を通じて、中長期的な企業価値の向上に努めます。	私たちには、法人のお客さまの経営課題の解決に向けて、スピーディかつ最適なソリューションの提供に努めます。
従業員の皆さまとの約束	個人のお客さまとの約束
私たちには、社員一人ひとりにとって、働きやすい、働きがいのある職場づくりに努めます。	私たちには、個人のお客さまの多様なニーズに対して、安心・安全で利便性の高い金融サービスの提供に努めます。



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

24

私どもは、第5次経営計画でステークホルダーごとに「6つの約束」をしました。

すなわち、社会・地域・法人のお客さま・個人のお客さま・株主の皆さま・従業員、それぞれのステークホルダーの皆さんに対して、「どのような価値を提供し続けるのか」を6つの約束として明文化しました。

共通するのは、「やっぱり“トモニ”を選んでよかったと言われる広域金融グループ」と思っていただける存在でありたい、という想いです。

金利環境が変化し、人口減少や人手不足といった構造的な課題もある中で、地域の企業やお客さまとともに課題を乗り越え、持続的な成長と株主価値向上の果実を分かち合えるよう、これからもグループ一丸となって取り組んでまいります。

<本説明資料に関するお問合せ先等について>



トモニホールディングス株式会社

T徳島大正銀行



トモニホールディングス株式会社

香川銀行



トモニホールディングス株式会社



トモニホールディングス株式会社

T徳島大正銀行



トモニホールディングス株式会社

香川銀行



トモニホールディングス株式会社

トモニホールディングス株式会社
経営企画部

TEL:087-812-0102

本資料に記載の見通し、今後の予測、戦略等に関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、予測し得ないような特別の事情の発生又は通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果が生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆さまにとって重要な情報を開示するよう努めてまいりますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えください。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、又は転送などを行わないようお願いいたします。



トモニホールディングス株式会社 Copyright © 2025 TOMONY Holdings, Inc.

25